

## 核酸検出法を用いたインフルエンザウイルス検出と診断への応用に関する 実用化研究

<b>研究課題名</b>	
核酸検出法を用いたインフルエンザウイルス検出と診断への応用に関する実用化研究	
<b>研究責任者</b>	順天堂大学 感染制御科学 教授 堀 賢
<b>研究分担者</b>	総合診療科 准教授 内藤 俊夫 総合診療科 助教 上原 由紀 総合診療科 中村 暢宏 臨床検査医学科 前任准教授 田部 陽子
<b>研究の意義と目的</b>	<p>インフルエンザウイルスを迅速且つ高感度で検出する体外診断法の開発を目的とします。インフルエンザは細菌よりもさらに小さなウイルスが、ヒトに感染して引き起こす病気です。本研究の目的はインフルエンザウイルスの迅速診断法を確立して、いち早く医療現場で活用できるようにすることです。</p> <p>この研究を今後も大流行を引き起こす可能性のあるインフルエンザの研究に役立てることは大変重要です。</p> <p>そこで、この研究に賛同してご参加いただける健常者の方を募集致します。</p>
<b>お願いの内容</b>	鼻の穴から滅菌綿棒を用いて鼻腔ぬぐい液を採取します。
<b>場所</b>	総合診療科で行います。
<b>研究の方法</b>	発熱がありインフルエンザ感染が疑われる患者さん、呼吸器疾患を呈する患者さん、および本臨床研究に賛同していただいた健常者の方で、この臨床研究に参加を同意する文書を提出していただいた方を対象として、鼻腔ぬぐい液を滅菌綿棒を用いて採取します。インフルエンザ診断用の市販キット、及び新たに開発した迅速診断法の比較検証を行います。
<b>研究実施期間</b>	承認日 ~ 平成 27 年 3 月 31 日
<b>被験者の保護</b>	本研究に関係するすべての研究者は、ヘルシンキ宣言(2008 年 10 月 WMA ソウル総会[韓国]で修正版)及び臨床研究に関する倫理指針(2008 年 7 月 31 日全部修正版)に従って本研究を実施します。

**同意の取得について**

患者さんに使用する同意説明文書と同じものを使用し、賛同いただけた場合署名をいただきます。

**問い合わせ先**

〒113-8421 東京都文京区本郷 2-1-1

順天堂大学医学部附属順天堂医院 総合診療科

TEL: 03-3813-3111 (内線)70110

研究担当者: 内藤 俊夫